

山岳霊場 三徳を読み解く

～三朝町制 70 周年記念誌～

三朝温泉の開湯伝承に登場する「白狼」は但馬の妙見菩薩の名代として三徳山に参籠していた！？

内容紹介

本書は、これまでの三徳山三佛寺を対象とした視点から脱却し、三徳山全域を山岳霊場として捉え、全国的な視野で山中に残された遺跡や建造物を読み解いた内容となっている。

また、日本遺産認定第1号となったストーリーに深い関わりがある三朝温泉の開湯伝承「白狼伝説」と三徳山との繋がりが、歴史的な背景や信仰による多様な宗教者の往来によりもたらされたことを紐解いている。

さらに、現在、発掘調査中の神倉「湯」の遺跡群についても、中世当時の姿を残す貴重な山岳修験の世界として紹介されるなど、三徳山の新たな魅力が発見できる一冊となっている。

目次

- 序章 三徳と向き合う**
…著者と三徳山の出会い、山岳霊場の基礎知識について
- 第一章 山岳霊場を探訪する**
…伯耆大山をはじめとする全国の山岳霊場を紹介
- 第二章 三徳(美德)信仰の繋がり**
…三徳信仰と三朝温泉開湯伝承の関係について
- 第三章 三徳山と三佛寺を探る**
…三佛寺の建築物群に見る岩屋信仰と山岳修験
- 第四章 三徳山神倉の世界**
…現在調査を行っている神倉遺跡群について解説
- 終章 美德(三徳)を位置づける**
…宗教史の視点から日本の中に美德を位置づける



2024年4月1日 発行

著者：山本 義孝 氏
企画・編集：三朝町教育委員会
発行：日本遺産三徳山三朝温泉を守る会
発行部数：800部
販売価格：2,000円（税込）
発売：今井印刷
(全国書店で販売中)

著者紹介：山本 義孝 (やまもと よしたか) 氏

京都市六波羅出身。40年以上にわたり全国の霊場を詳細に踏査して調査を行い、神仏融合の視点で宗教史の研究を行うとともに、その価値と魅力を守り活かすための地域の人材育成に繋げている。三徳山へは20年以上足を運び、修験者の感性でかつての姿を探求している。

日本宗教学会会員・日本山岳修験学会理事・日本宗教民俗学会委員 他
静岡県博物館協会理事

【お問合せ先】日本遺産三徳山三朝温泉を守る会 事務局
(三朝町教育委員会事務局 社会教育課)

電話：0858-43-3518、E-mail：shakaikyoku@town.misasa.tottori.jp

